

ジャパンオンラインスクール

日本語講師募集



目次

・ ごあいさつP3
・ 応募要件P4
・ 登録までの流れP5
・ J-OS についてP6
・ J-OS の特徴P7
・ テレビ電話によるオンラインレッスンについてP8
・ J-OS が求めている講師像P9
・ J-OS の仕事について(良い点も大変な点も正直にお話します。)P10
・ 講師体験談(先輩講師の声)P12
・ Q&A(よくある質問)P18
・ 契約形態についてP22
・ 委託料とその支払方法についてP22
・ ご登録頂く方との大切なお約束P23
・ 最後に(代表からのメッセージ)P25

ごあいさつ

ジャパンオンラインスクール (J-OS) へご興味をお持ち頂きありがとうございます。採用においては教師・学校のお互いが相手を良く知ることが重要だと思っておりますので、J-OS についてより深くご理解頂けるように本資料をご用意いたしました。

J-OS では、良い方がいらっしゃればいつでもご登録頂きたいと考えておりますので、日本語教師の募集は常時行っております。ただし、受講者に自信を持って先生をご紹介できるよう独自の採用基準を設けておりますので、ご登録希望の方は、募集用サイトおよび本資料をご確認のうえエントリーフォームをご提出下さい。

募集用サイト : <http://www.j-os.com/teachertouroku.html>

エントリーフォーム <http://www.j-os.com/formmail/saiyou/entry.html>

応募要件

(1)有資格者（以下のいずれかに該当する方）

1. 大学で日本語教育を主専攻または副専攻して修了された方
2. 日本語教育能力検定試験に合格された方
3. 日本語教師養成講座 420 時間を修了された方

(2)1年以上の実務経験がある方（ボランティア、資格取得前の経験は含まず）

(3)SKYPE(※)のビデオ通話を使える方（以下のすべてが必要です）

1. PC (※)
2. インターネット(接続速度が安定的に 0.5Mbps 以上あるブロードバンド回線)
3. ウェブカメラ と ヘッドセット(※)

(4)メール、インターネット、ワードなどの基本的なPC操作ができ、メールで業務上のコミュニケーションが出来る方

(5)長期的に(最低でも1年間)ご登録いただける方

(6)授業可能時間帯として週に25時間以上登録でき、且つ、現実的に週に10レッスン以上担当いただける方

※[SKYPE](#) は無料で、初めての方でも簡単にお使い頂けます。

使用方法を詳しく解説したマニュアルはこちら。

※PC は、Windows 7、Vista、XP、または Mac のいずれかで、フリーズが少ないもの。

メモリは512M 以上推奨

※ウェブカメラとヘッドセットは高価なものでも結構です。

ヘッドセットはノイズカット機能がついているものがお勧めですが、最近では両方合わせても 3,000～5,000 円ほどで揃える事が出来ます。ただし、面接結果によってはご登録頂けない可能性もございますので、必要機器のご購入は自己責任にてお願いしております。

※面接は SKYPE のビデオ通話を使って行いますので、事前にご準備下さい。

事前にご質問がある方は[こちら](#)から質問事項をお送り下さい。



登録までの流れ

1-1 募集情報をご確認のうえエントリーフォームをお送り下さい。

1-2 書類選考結果のご連絡をお待ち下さい。

エントリーフォームの内容を踏まえ、選考結果についてEメールにてご連絡致します。

2-1 一次面接 兼 接続テスト

接続テストを兼ねた一次面接を SKYPE (ビデオ通話) で行います。(所要 30 分～45 分程度)

2-2 一次面接 兼 接続テスト結果のご連絡

一次面接や接続状態を踏まえ、選考結果についてEメールにてご連絡致します。

2-3 二次面接

弊社代表との二次面接を SKYPE (ビデオ通話) で行います。(所要 15 分程度)

2-4 二次面接結果のご連絡

二次面接を踏まえ、選考結果についてEメールにてご連絡致します。

3-1 業務委託契約の締結 と システム登録作業

業務委託契約を締結させていただきます。

身分証明書(写)、守秘義務等に関する誓約書をご提出頂きます。

「予約システム」「教師紹介ページ」「メールシステム」などの使用方法をマスターして頂きます。

3-2 業務理解度テスト を経て 生徒ご紹介 (研修期間)

業務理解度テストを行った後、新規登録講師としてご紹介させていただきます。

スケジュールに合う受講者からの申込があり次第ご紹介させていただきます。

3-3 研修期間終了後(10レッスン担当後) 正式登録

J-OSについて

ジャパンオンラインスクール(J-OS)は有限会社ジャパンオンラインスクールが運営するインターネットテレビ電話によるオンラインレッスンを専門にした世界初の日本語学校です。(2004年03月創業、2005年11月法人化)

当社の企業理念は『日本に興味を持ってくれた人の成功と成長に貢献する』です。そして、スクールとしてのコンセプトは『マンツーマンレッスンのプロ集団』です。

日本在住者のみならず、海外在住の方からもお申込を頂き、お陰さまで現在順調に運営を行っております。

これまでのメディア掲載事例としては、「ひらがなタイムズ(バイリンガル雑誌)」(2005年01月号)に世界初のオンライン日本語学校としてご紹介頂きました。また、「月間総務(総務担当者向け専門誌)」(2008年02月号)では、当社の法人向けサービスである「オンライン日本語研修」についてご紹介頂きました。

また、日本語教師向けのセミナーも行っており、『プロ日本語教師養成セミナー』は「日経産業新聞」(2009年04月03日版)や「リタイアメントジャーナル(退職者向け情報誌)」(2009年05月版)でもご紹介頂きました。



J-OSの特徴



・マンツーマンのライブレッスン

学習者のニーズやリクエストに応じてレッスンをカスタマイズする楽しさがあります。

・自宅から世界中の学習者に

多様な受講者とのコミュニケーションを通じて、講師の世界観も広がります。

・都合の良い時間に教えられる

子供が学校に入っている間に教えたい。平日夜間と週末に教えたい。というワークスタイルも可能です。

・社会人学習者がメイン

自身の学習目的をもった社会人がメインで、いわゆる「大人の学習者」ばかりです。

・成長できる環境

基礎研修もあり、安心してオンラインレッスンにチャレンジできます。
また意識の高い仲間との意見交換で気付く事もたくさんあります。

・サポート体制がシッカリしている

手前味噌で恐縮ですが、学習者からも講師からもサポート体制を高く評価頂いています。

テレビ電話によるオンラインレッスンについて



オンライン日本語レッスンは新しい授業形態ではありますが、自宅から世界中の方々に日本語を教える事ができるとも便利な方法で、特に在宅勤務をご希望の方に向いているお仕事です。もちろん、クライアントの自宅やオフィスへの訪問も当社への通勤も必要ありません。

「オンラインでもちゃんと教えられるだろうか・・・？」と皆さん最初は不安感をお持ちになりますが、対面式レッスンと比べても機能的なデメリットは殆んどありませんのでご安心下さい。むしろ、余計な拘束時間もなく、自宅のパソコンから世界中の方々に教える事ができる点がすでに活躍されている先生方に好評です。

※ホームページに「レッスンの動画」や「受講者の声」を載せていますのでご参照下さい。

レッスンの動画 : <http://www.j-os.com/sampleJ.html>

受講者の声 : <http://www.j-os.com/studentvoice.html>

※1ヶ月(実働19日)で112コマ(約5.9コマ/日)教えた事がある先生もいます。

※J-OS 講師による体験談はP12をご覧ください。

J-OSが求めている講師像

J-OS では次の全てを満たす方を求めています。(これらは、J-OS がこれまでに何百人という学習者と講師を見てきた経験を踏まえ「人気が出る講師に共通している点」を挙げたものです。)

・日本語教師として・・・

- ・文法の説明を的確にできる
- ・プライベートレッスンに対応出来る柔軟さを持っている
- ・ニーズ・レディネス分析が出来、学習者のために中長期的なレッスンプランを作成できる
- ・教科書をこなすだけではなく、授業を工夫できる
- ・学習者のモチベーションにも配慮できる
- ・学習者とフェアに向き合いつつ、教師としてリードも出来る

オンラインでの仕事だからこそ人間性も重視しており、以下のような項目も挙げています。

・一緒に働く仲間として・・・

- ・誠実
- ・前向きな発想が出来る
- ・明るく社交性がある
- ・他人への思いやりがある
- ・社会人としての常識がある
- ・責任感がある
- ・時間を守る
- ・柔軟な考えができる
- ・自分で考えて行動できる
- ・一匹狼にならず他の講師との情報交換を通じて相互の成長に喜びを感じられる
- ・オンラインレッスンという新分野で成長したいという意志と熱意がある
- ・常に勉強をしている

マンツーマンレッスンでは、多様な学習者に対応していく必要があり、講師には相応のスキルとコミュニケーション能力が求められます。必要なスキルについて一概に断言するのは難しいのですが、現在は、使用出来る教科書が最低でも5冊以上無い方はお断りしております。また、レディネス調査やニーズ調査の経験やカリキュラム作成の経験が無い方もお断りしております。

J-OSの仕事について

(良い点も大変な点も正直にお話します。)

登録後に「思っていたのと違う・・・」となるのは講師の方にとっても J-OS にとっても避けたいものですから、J-OS の仕事や採用方針について正直にお伝えします。

(1) 楽な仕事ではありません。

楽しくお給料を貰いたい、というお考えがありましたら他のお仕事をお勧めします。日本語教育という仕事ですから、学習者の成長を実現してこそ評価されます。また、マンツーマンレッスンですから、学習者のモチベーションへの配慮が出来ない方や、決まりきったレッスンしか出来ない方にとっては難しい仕事です。

(2) 一生懸命なだけでは評価されません。

学習者が定着しない講師には、残念ながら「マイナスのスパイラル※」が待っています。マンツーマンレッスンは一般の日本語学校のクラスレッスンと違って、学習者を無理やり授業に出席させる事は出来ません。続けるのも止めるのも、すべて学習者次第ですので、学習者が定着しない講師にとっては仕事が減っていく、または無くなっていく環境です。

もちろん、学習者が定着する講師には「プラスのスパイラル」が待っており、楽しい授業が増えていき、努力が報われるという事を実感頂けると確信しています。

※「マイナスのスパイラル」とは・・・

「学習が続かない」「日本語の能力が伸びない」「楽しくない」「勉強を止める」という学習者の過程に伴い、講師にとっても「教え甲斐が無い」「感謝もされない」「満足して貰えない」「収入も減る」という結果が待っており、スクールにとっても、せっかく獲得したクライアントを失う事になる、という3者にとっての負の連鎖です。

(3) 他の仕事や学業に専念される事もお薦めしています。

「空いている時間を有効活用したい」という志望理由が多い事は理解しておりますが、J-OSでは、学習者を全力でサポート出来る講師を求めていますため、他に優先すべきフルタイムのお仕事や大学院での勉強などがある方にとっては 続けていくのは難しい環境であることを正直に申し上げます。

※このため、授業可能時間帯として、週に25時間以上登録でき、且つ、現実的に、週に10レッスン以上担当いただける方に限定しています。

※ただし、お子様が学校に行っている間にお仕事をしたい方、海外在住の方など、在宅で出来る仕事を探している方にとっては、ご活躍頂ける可能性が十分にあります。地方や海外在住でも全く問題ございません。

(4) 一匹狼の方には向いていません。

講師も成長できる環境を提供したいと考えています。同じ目標を持つ仲間が集まった組織だからこそ、お互いの成長も実現可能になります。何よりも、高い仕事観を持つ人と一緒に仕事ができるのは楽しい事です。

以上のように、誰にでも出来るような楽な仕事では決してありませんが、J-OSで活躍されている方々からは、以下のような点について好評を頂いております。

・ マンツーマンが楽しい。奥が深い

- ・大変だけど、学習者1人1人に合わせてオーダーメイドレッスンをする楽しみがある。
- ・学習者との関係は生徒と講師という以前に1人の人間対人間で、多様な価値観を持った学習者とのコミュニケーションは刺激的。

・ 自宅で世界中の人たちに日本語を教えられ、多様な学習者に会う事が出来る。

・ 都合の良い時間に教えられる

- ・子供が小さいので子供が学校に入っている間だけしかレッスンは出来ないが、好きな仕事を続けられる喜びがある。
- ・親の介護の問題があり日本語学校で教える事が出来なくなったが、J-OS でなら教えられる。

・ 大人の学習者が多い

- ・シッカリした学習目的をもった社会人(いわゆる大人の学習者)ばかり。
- ・J-OS の学習者には精神的に成熟している方が多いように思います。

・ 人間としても成長できる仕事

- ・色々な情報提供をして頂き、指導スキル以外にも学べる事がたくさんあります。
- ・意識の高い先生方との意見交換で気付かされる事がたくさんあります。

・ 相談できる講師仲間ができる

- ・同じ志をもった先生方に悩みを相談できるので安心感がある。

・ サポート体制がシッカリしている

- ・何かトラブルがあってもすぐに対応してくれる。
- ・講師の立場では聞けない学習者の本音や情報を共有してくれるのがとても参考になる。
- ・オリエンテーションも充実していて、安心してオンラインレッスンにデビューできる。

講師体験談（先輩講師の声）

奥山牧子 先生



J-OS との出会いは、日本語教師として、学校で教える以外の選択肢と可能性を考えていた時に、偶然インターネットで見つけたことがきっかけです。「世界初の日本語オンラインスクール」というフレーズがあって、それが印象に残りました。

エントリーするのに、これといって不安はありませんでした。オンラインレッスンが未経験だったため、どんな感じになるんだろう、という疑問はありましたが、まずチャレンジしてみようという気持ちでした。現在は、さまざまな生徒さんを担当しています。

オーストリア人(シェフ)、スロバキア人(研究員)、ベルギー人(日本語教師)、フランス人(監査法人)、カナダ人(IT関係)、香港人(心理カウンセラー)、イスラエル人(半導体関係)、イギリス人(英語教師)

実際に教えてみると、多くのことに気づきます。

残念なのは、インターネットの接続障害やスカイプの接続不良があると、授業の流れが止まってしまうことです。しかし、それを怒る生徒さんは今のところいません。

コミュニケーション力を磨きたいという人が多く、オンラインレッスンは、いい意味での距離感があり、コミュニケーションを楽しんでもらうことができます。

難しい点といえば、自己管理でしょうか…これは常に課題です。

マンツーマンで、しかもオンラインだから、孤独を感じるのでは？と思われるかもしれませんが、確かに、カスタムメイドのレッスンを提供するので、労力と時間はかかりますし、一人で考えることもたくさんありますが、J-OSには教授経験が豊富な先生はもちろんのこと、色々な経験をお持ちの先生がいらっしゃいます。掲示板を利用して、お知恵をお借りすることもできますし、そう肩肘を張らず、仲間という意識を持って働くことができます。

日本語教師は楽ではありません。頑張ってもうまくいかないことも多いです。しかし、「先生のおかげで」とか「役に立ちました」と感謝されることが一番次の原動力になります。また、オンラインレッスンを通して、日本語教師の役割は、カウンセラーのような側面もあると気づきます。サポートする、力を引き出す、という力です。

まずはチャレンジ、新しい可能性を探してみたい方、ぜひエントリーを。

大中郁美 先生

私が J-OS に登録したのは、5 年前、日本語教師として教え始めて 2 年ほど経ったころでした。日本語教師の求人サイトで J-OS のことを知り、「ネットで教える？おもしろそう」と軽い気持ちで応募したのを覚えています。今思えば、経験も浅く、スカイプも利用したことがなかった私が無謀にもよく応募したな、と苦笑してしまいます。

さて、登録はできたもののカメラを通して行うレッスンのイメージはなかなか湧きませんでした。指定のテキストもない、カリキュラムもない、という状況はかなり不安でした。マンツーマンレッスンには、何よりもコミュニケーション能力が求められます。受講者が何を求めているのか、受講者には何が必要なのか、会話の中から引き出していかなくてはなりません。一人ひとりのニーズを把握し、そのためのレッスンを作り上げる。そのためには、「こんなふうに教えなくちゃ」という思い込みから離れた柔軟な考え方、プランが必要です。これは、J-OS でのレッスンで気付かされた「目から鱗」の日本語教師のあり方でした。

これまでに、ハンガリー、ドイツ、フランス、ロシア、アメリカ、オーストラリア、台湾などさまざまな国の人たちにレッスンを行ってきました。主婦、会社員、リタイヤした年配の方 etc. 受講の理由もさまざまですが、みんな日本語を学びたいという熱心な人たちばかりです。そんな人たちとの出会いは喜びでもあり、その熱意には刺激を受け続けています。

オンラインレッスンで不自由を感じることはありませんが、難しいのはレッスンを受け続けてもらうことです。受講者がモチベーションを失えば、簡単に音信不通になってしまいます。オンラインレッスンは簡単に受けることもできますが、キャンセル、辞めることも容易にできます。それを受講者の問題として片付けず、モチベーションを維持し続けてもらえるような魅力あるレッスンを提供することがいちばんの課題です。

いちばん困ったことは、PC のトラブルです。レッスン直前に突然 PC がダウンしてしまったときは、冷や汗が出ました。また、レッスン中に回線の不具合で通信状態が悪くなったこともありました。PC 操作に精通していない私は、対処に戸惑うこともあります。登録をきっかけに、スカイプやメッセージングを始めたおかげで、世界が広がったと言えます。J-OS の緊急時サポートや PC 情報提供に助けられています。

J-OS は「オンラインスクール No.1」を目指して、進化し続けています。講師、受講者のニーズに答えるためのサポート体制が充実してきました。現在は事前に詳しい受講者情報を得ることができ、インタビューも聞くことができるので、レッスンプランを立てる上で参考になります。また、講師の掲示板で相談や情報交換ができ、講師間のつながりも出来てきました。

講師には求められることも多くなってきました。日本語を教えるだけでなく、受講者の定着率アップのため、自身の目標設定も求められます。「そこまで考えなくちゃいけないの」と思うこともありますが、新たにやりがいも感じられるようになりました。日本語教師としての枠にとどまらない役割、刺激を得ることができると思いますよ。日本語学校での授業に行き詰まりを感じている方、もっと自由に日本語を教えたい方、J-OS で世界中の人に日本語を学ぶ楽しさを伝えてみませんか。

イエイツ八千代 先生

私はアメリカ在住です。娘は小学五年生なので、学校や習い事への送り迎えで忙しい毎日です。

オンラインで教える前は語学学校にいましたが、クラスは週に1回か2回位で非常に不安定でした。定期的に仕事があるわけでもなく、働きにくいと思っていました。そして、その時は子どもも小さかったため、託児所に預けたりし、結局お給料をもらっても、プラスマイナスゼロでした。しかし、やはり在宅というのは通勤しなくてもいいし、子どもを預けることなく、自宅で仕事ができます。娘もすっかり、私在家の中でクラスをしていることに慣れてしまっています。

マンツーマンで教えるということは、やはり個人のレベルとペースで時間を有効に使えるので、生徒さんにもとてもいいことだと思います。

J-OS のサポート体制はとても充実していますので、スカイプが使えなくなった、宿題のファイルが送れない、などのときはすぐに対応してもらっています。

もし、J-OS への登録を検討していらっしゃるのなら、私は女性として、母親として、そしてもちろん日本語教師としておススメします。確かに語学学校で普通に教えるのはいいことだと思いますが、通勤時間がないこと、子どもと一緒にいられること、休憩の時間に家族の顔を見られるのはすばらしいことだと思います。そして何より、世界中に生徒がいるのは私の誇りです。

今、担当している生徒はフランス人(高校教師)、ドイツ人(IT エンジニア)、デンマーク人、アメリカ人、スイス人(会社員)です。中級以上になるともちろん直説法ですが、特に入門や初級レベルになると、英語で説明もします。在米 12 年以上にもなると、小さなニュアンスも説明できるようになりますので、アメリカ人の生徒さんからは重宝されています。また、ヨーロッパ人の生徒さんも、更に詳しい説明を英語で聞きたがる方もいらっしゃいます。英語というのは私の武器になっています。

飯嶋雅代 先生

エントリー時は、カフェで何コマかプライベートレッスンをしていました。でも、外に出てプライベートレッスンをするとなると、時間がまちまちなので、レッスンとレッスンの間に変な空き時間ができてしまいます。この空き時間を有効に使えるといいのに、と常々思っていました。そんな時J-OSの存在を知り、ここなら空き時間を有効に使えると思ったのです。

機械の苦手な私は、パソコンを使うオンラインということに非常に不安がありました。それは接続の問題であったり、学習者がレッスン開始時間にオフラインだった場合の対応であったりと様々なことです。

しかし、実際にレッスンを始めてみると、そのような不安は一掃されました。万が一、私や学習者に接続の問題があっても、J-OS でトラブルの対応が素早いので、心配はありません。また、このような問題以外にも何でも気軽にサポート係の方に問い合わせることができます。

それとは別に、レッスンや学習者に対する疑問や悩みも教師用の掲示板を利用すれば、経験豊富な先生方がすぐにアドバイスを寄せてくださいます。掲示板には随所で行われる教師用セミナーもアップされているので、自己啓発の場としても私は利用しています。

ここ数年、オンライン上で先生方と意見交換のできる機会もあり非常に勉強になりました。日頃、掲示板でのやり取りが多い先生方ですが、実際に声をお聞きして、お話しすると、そのお人柄も何われ、一層先生方を身近に感じることができました。

更に、レッスンプランやコースデザインについても先生方のアドバイスを頂くことができるので、自信を持ってレッスンに臨むことができます。最近では、登録時に研修があり、実際にレッスンを始める前のサポート体制も万全です。

このように J-OS では、先生方が絶えず意見交換し教師として成長する機会が得られます。教師として経験豊富な先生のみが登録でき、登録後も日々向上を目指すプロ集団だと感じています。

また、実際のレッスンは、オンラインだからといって取り立てて違う点はありません。私も学習者の方もそれぞれにテキストを持って進めていきます。あえて、違う点があるとするならば、学習者のノートやメモをその場で見るのが難しいということですが、カメラの焦点をノートやメモに動かしてもらえば解消できる問題です。むしろ、チャットで文字を送ることができるので、お互いに文字で確認することができ、学習者の方も安心して勉強できるようです。また自宅でのレッスンということで、学習者の皆さんはとてどもラックスしてレッスンを受講していらっしゃいます。

J-OS はそれぞれが自宅での仕事であっても、お互いに情報や意見を交換し切磋琢磨できる場所です。日本語教師として成長したい方はぜひとも一緒にしませんか？

藤崎恵 先生

J-OSにエントリーしようと思った理由ですが、在宅で出来るのは、私にとっても生徒さんにとっても時間を有効に使えると思ったからです。学校や 企業で教えることももちろん良いのですが、移動時間などを考えると、より時間を有効的に使えると思ったからです。また、日本では知り合うことの出来ない生徒さんと国を超えて教えることが出来るところがすばらしいと思いました。

もちろん不安はありました。パソコンがあまり得意ではなくスカイプを使うのも初めてだったので、問題なく出来るかどうか不安でした。

実際にオンラインのマンツーマンレッスンで教えてみると、思っていた以上に便利です。きちんと顔を見て授業が出来るので生徒さんの表情も分かりますし、チャットを使えば文字で表すこともできます。ただ、聴解の練習だけ少し大変ですが(学校のようにCDを使って教える事が出来ない)、それ以外は特に問題なく授業を進めることができます。

J-OSのサポート体制はとても良いと思います。生徒さんへのフォロー体制もきちんとしていますし、他の先生方とも掲示板で情報を共有できる事は気持ちの面でもとても強みになっています。(新しいテキストの話やセミナーなどの情報を知ることが出来る)

やってみたいけどパソコンが苦手な躊躇してしまうとか、実際にきちんと授業ができるか不安とっている方はぜひトライしてみてください！！サポートもしっかりしていますし、普通の対面式授業と何も変わりません。

池田ゆかり 先生

それは、ある夏のちょっと手前のころ。当初、豚インフルエンザと呼ばれていた新型インフルエンザの流行で、毎年夏休みにある大学で開かれる日本語と日本文化を学ぶ夏期講習がキャンセルされた年がありました。もともと、主に日本の企業で働く駐在員とその家族を教えていたので、夏休み時期には授業が激減し、その夏期講習でカバーしていたのに、それもなくなってしまう…、ということで、新たなルートを確保しておいた方がいいと思っていた時でした。たまたま、ジャパンオンラインスクールの存在を知り、教師募集サイトから応募しました。

そうは言っても、それまでは Yahoo!での文字チャットや、スカイプでも音声でしか利用したことがなく、ビデオチャットなるものは全くの未経験。もちろんウェブカメラも持っていませんでしたので、未知への挑戦でした。面接もスカイプの音声とカメラのチェックも兼ねての、初めてのビデオチャット。正直、どうなるのだろうと思っていました。お陰さまで、とても丁寧なサポートで、なんとか無事スカイプも使えるようになりました。

サポートと言えば、PC の使い方だけではなく、体験レッスンや学習者とのコミュニケーションまで、本当にきめ細やかなサポートをいただいています。プライベートレッスンですと、どうしても教師がすべてを抱えざるを得なくなりますが、個人では行き届かないところまで細かくチェックしていただいているので、逆に言えばごまかしがきかない…(笑)。また、教師本人には直接言えない不満なども聞き出してくださり、それはそれで、落ち込むことも多々ありますが、生の声が耳に入るといことで反省点として受け止め、次への更なるステップにつながっていきます。

実際オンラインでレッスンをするようになって、自分にとって一番大きかったのは、学習者の幅が増えたこと。前述いたしました、今までは日本企業で働く駐在員が日本にいる期間だけ会社払いでレッスンを受けるというのが主だったので、マンツーマンということには変わりはありませんが、学習者も学習スタイルも全く違うタイプの授業を経験しています。

現在教えている人たちは、ドイツ人、IT 関係。アメリカ人、金融関係。ロシア人、IT 関係。フランス人、技術者。このあたりは職業的には今までもなじみがありましたが、アメリカ人、教師。オーストラリア人、教師。アメリカ人、米軍関係者(技師、医者、弁護士)というのは新しい分野です。また、ちょっと変わった感じでは、コロンビア人、音楽プロデューサー。アメリカ人、ウェブデザイナーといったところでしょうか。

オンラインで教えること。それはある意味での挑戦だと思います。新しいことに挑戦するということは、今までの経験をもとに、さらにステップアップするということです。もちろん新しいものへの拒絶や葛藤もあると思います。でもそれを柔軟に受け入れて、常にポジティブシンキングでいることが秘訣かな…と思う今日この頃です。

Q&A よくある質問



□ オンラインレッスンでも、問題なく教えることが出来るのでしょうか？

はい、出来ます。こちらの[サンプルムービー](#)をご覧ください。

皆さん最初は不安を持たれますが、慣れてくると対面式レッスンと比べても機能的なデメリットが無いことをご理解頂けます。

□ 英語は必要ですか？

間接法を指定してくる方もいらっしゃいますので英語を話せた方がご紹介できる案件が多くなりますが、必須ではありません。

□ 海外に住んでいるのですが、問題がありますか？

いいえ、お住まいの場所は問題ございません。

北米、南米、欧州、豪州などからご登録頂いている方々もいらっしゃいます。

□ パソコンが苦手なのですが、大丈夫でしょうか？

操作マニュアルがございますので初心者の方でも問題ございませんが、スムーズな進行のためには最低限 E メールやインターネット程度は使いこなして頂く必要がございます。

ブラインドタッチも出来た方が望ましいです。

□ パソコンが少し古いのですが、大丈夫でしょうか？

申し訳ございませんが、パソコンの動作が遅い場合や頻繁にフリーズしてしまう場合には、スムーズにビデオチャットが出来なくなりますのでご遠慮頂いております。

Windows 7、Vista、XP、または Mac で同等以上のスペックのパソコンが必要です。(メモリは512M以上推奨)

□ ウェブカメラやヘッドセットを持っていないのですが必要でしょうか？

はい、面接で使いますので、エントリーフォームをお送り頂く前にご準備頂く必要がございます。エントリー前にご質問がある方は[こちら](#)からお問い合わせ下さい。

□ インターネットの速度が遅いのですが、大丈夫でしょうか？

申し訳ございませんが、スピードが遅いとスムーズにビデオチャットが出来なくなりますので、安定的に 0.5Mbps以上あることをご確認のうえお申込ください。

回線速度は[こちら](#)のサイトで計測できます。

「測定スタート!」という赤いボタンを押して数秒お待ち頂くと「あなたの回線速度〇.〇〇〇Mbps」と表示されます。

□ 資格を持っていません。登録は可能でしょうか？

申し訳ございませんが、下記のいずれかに該当する「有資格者」の方を採用させて頂いております。

1. 大学で日本語教育を主専攻または副専攻して修了された方
2. 日本語教育能力検定試験に合格された方
3. 日本語教師養成講座 420 時間を修了された方

□ 資格はあるのですが実際に教えた経験がありません。登録は可能でしょうか？

申し訳ございませんが、1年以上の実務経験のある方(ボランティア、資格取得前の経験は含まず)を採用させて頂いております。多様な学習者に対応出来るご経験が必要になります。

□ 1回のレッスンは何分ですか？

レッスンにより異なります。最小単位は50分で、以降25分ずつ延長できるシステムです。

50分が一番多く、次いで75分、100分、125分となります。

なかには、テスト前などで1度に150分間受講される方もいます。

□ 担任制ですか？

ほとんどの受講者は特定の講師と継続して受講しています。

ただし、受講者は自由に講師を選べるシステムですので、複数の講師から同時に受けている方や、色々な講師のレッスンを受ける方もいらっしゃいます。

□ 毎週決まった時間・曜日なのでしょうか？毎回予定を決めていくのでしょうか？

受講者により異なりますが、「基本スケジュール」を決めて都合が悪い時にはその都度調整するというパターンがほとんどです。

ただし、仕事の都合で定期的な受講が出来ない方など空いている時間にその都度予約をしてくる方もいらっしゃいます。

(予約システムには「対応できない時間帯」も登録することが可能です。)

□ 夏休み、年末年始など、休暇を取ることは可能でしょうか？

事前に予約システムでの休暇設定、サポート係への報告を頂く必要はございますが、お休みを取られること自体は問題ございません。ただし、極端に休暇が多い場合は登録をご遠慮頂く場合もございます。

□ 週に1~2レッスンだけ担当したいのですが、可能ですか？

申し訳ございませんが、対応頂ける時間が少ない方はご遠慮頂いております。

目安としては週に10レッスン以上を担当頂きたいと思っています。また、授業可能時間帯として週に25時間以上登録できることを条件とさせて頂いております。

□ 「週に25時間以上の登録」というのは、25時間以上働くという意味ですか？

いいえ、「この時間帯は J-OS で教えられます」という時間の合計が週に25時間以上あるかどうかで、必ずしも「最低25時間以上教えられなければならない」という意味ではありません。

授業可能な時間が少ない場合、受講者の希望時間と合致する可能性が低くなりますので一定時間以上の枠が確保出来る事を条件とさせて頂いております。

□ 長期的に登録できるかどうか分からないのですが、登録は可能でしょうか？

現在の見込みで結構ですが、最低でも1年間にご登録頂けることを条件とさせて頂いております。

□ 他の仕事の都合でレッスン可能な時間が不規則なのですが、登録は可能でしょうか？

受講者をご紹介できる可能性が低くなりますので、ご遠慮頂いております。

□ レッソンの予約(確認)はどのようにするのでしょうか？

当社の予約システムで行います。先生の対応可能な日時をシステムにご登録頂き、その中から生徒が希望する時間を予約します。予約システムについての詳細は別途ご案内します。

□ どんな受講者がいますか？

英語圏、または、英語が話せる人、20代～50代のビジネスパーソンがほとんどです。
日本国内より海外から受講されている方のほうが多くいらっしゃいます。受講者の出身国一覧は [こちら](#) をご覧ください。

□ どのくらいの受講者を担当しますか？

講師によって異なります。少ない方だと1名、多い方だと15名以上担当されていらっしゃいます。
また定期受講者以外からも予約が入る場合もあります。

□ 受講者は週に何レッスン受けていますか？

受講者によって異なります。
現在は週に1～2回の方がほとんどですが、2週間に1回程度の方もいれば週5回受講される方もいます。

□ 週に何コマくらいレッスンを担当しますか？

対応可能なスケジュールの幅、ご経験、担当する受講者の受講頻度などによって異なります。
人気のある先生ほど、学習者から多く予約が入ります。
また、登録講師には出来るだけ多くのレッスンを担当してもらいたい、という考えのもと、
学習者数 と 登録講師数 のバランスを見ながら採用を進めています。
現在は週に10レッスン程度は対応出来る方を募集しております。
たくさんのレッスンをご希望の方は、優先して案件を紹介することも可能ですので、ご相談下さい。

□ 月々の収入はどの位ですか？

対応可能なスケジュールの幅、ご経験、担当する受講者の受講頻度などによって異なります。
また、ご自身が J-OS でのレッスンを通じて、幾ら位稼ぎたいかによっても異なります。例えば月に10万円なら、基本プランの単価＝1000円とすると、月に100コマ必要です。仮に週5日稼働(月に約20日稼働)だと、一日平均5コマです。
この他、J-02 プラン、J-03 プランを担当できる場合は、単価が上がりますので、必要なコマ数は減ります。また、昇給された場合も同様です。
また、もしスキルもあり、もっと多くの収入を必要とされる方は、個別にご相談下さい。レッスン以外の業務をお手伝い頂くなど、どういった協力出来るか検討させて頂きます。
(これまでに講師向けセミナーを開講したり、講師向けサイトを開設したケースがございます。)

□ 登録するにあたって費用はかかりますか？

いいえ、一切掛かりません。

ウェブカメラやヘッドセットなどの必要機器はご自身でご用意頂く必要がございますが、すでにお持ちの方はそちらをご利用頂けます。

□ 登録後に新人講師向けの研修はありますか？

はい、ございます。

オンラインレッスンのコツや先輩講師の参考意見などをお伝えする新人向けオリエンテーションに加え、練習用のデモレッスンを行う機会や、他の J-OS 講師に相談出来る環境も用意しています。また、講師同士の勉強会も不定期に実施しておりますので、積極的に参加下さい。

□ 教材・カリキュラム・教授法などの指定はありますか？

基本的にそのような指定はありません。

J-OS は必要な業務面のサポートを行いますが、基本的にレッスンの内容と運営は教師の裁量にお任せしております。

受講者から何かリクエストがあった場合は、出来る範囲でご対応頂きますが、不可能な場合は(希望の教科書を持っていないなど)、対応出来ない旨をお伝え頂ければ結構です。

受講者から指定がある場合は、事前にそれを伝えた上で、対応出来る方を募集しております。

(例:今回は JBP2を使用出来る方を募集します。など)

□ レディネス分析やニーズ調査はJ-OSがしてくれるのですか？

レディネス分析やニーズ調査も担当頂く教師の方にお任せしております。

ただし、基本的な情報(年齢、国籍、職業、目的、希望スケジュールなど)は事前にご提供します。

□ 他の仕事もしているのですが、掛け持ちは大丈夫でしょうか？

他のオンライン日本語スクールとの掛け持ちは出来ませんが、オンラインレッスンを提供しない所謂通常の日本語学校でのお仕事や日本語教育関係以外のお仕事であれば可能です。ただし、対応頂ける時間が少ない方やレッスンできる時間が不規則な方はご遠慮頂いております。

□ 現在、どのような先生が登録していますか？

学習者向けのページ(英語)ですが、よろしければ[こちら](#)をご参照下さい。

□ 代表はどのような人ですか？

日々感じた事などを不定期にブログに書いています。よろしければ[こちら](#)をご参照下さい。

(現在は多忙のため、あまり更新出来ておりませんが、過去の投稿などご参照下さい。)

契約形態について

J-OS とご登録頂く教師の方との関係は委託関係になり、雇用関係にはなりません。レッスン可能なスケジュールをご登録頂き、その中で、J-OS が紹介する学習者のレッスンを受け持って頂く形です。

委託料とその支払方法について

50分レッスンを1コマとカウントし、1コマあたりの基本単価を決めます。

基本単価は経験を考慮させて頂きますが、通常は1,000円からスタートし担当レッスン数や受講者からの評価、業務姿勢などを踏まえ見直しを実施します。

※ただし、研修期間は900円。

※研修期間は累計で10レッスンご対応頂いた月に終了し、その翌月分より1,000円になります。

レッスンの時間	委託料(源泉税込み)
50分	1,000円～2,100円 (研修期間は 900円)
75分	1,500円～2,600円 (研修期間は1,350円)
100分	2,000円～3,100円 (研修期間は1,800円)

また、基本単価よりも報酬の高いレッスンもございます。

現在の目安は、J-02 プランで約1,700円/50分、J-03 プランで約1,900円/50分です。

※J-02 プラン J-03 プランを担当頂くには別途選考過程がございます。

支払方法は毎月1日から末日までのレッスン分を集計し、翌月25日までに指定口座に振込みます。

※振込手数料は、国内外における公平を期すため、受取人負担とさせて頂いております。

※J-OS の出金口座は三井住友銀行(横浜駅前支店)ですので、三井住友銀行に口座をお持ちの場合はそちらのご登録をおすすめします。

ご登録頂く方との大切なお約束

以下の(1)～(4)は重要な点です。問題がある方は恐れ入りますがご遠慮願います。

(1)クイックレスポンスの徹底

業務の連絡には、基本的にEメールを使用します。

Eメールは、(休曜日や長期不在時等は除き)必ず一日に一度はチェックして頂き、返信が必要なものについては、遅くとも受信後24時間以内には何かしらの返信を頂く事(24時間ルール)を原則としております。

(2)レッスンレポートの作成

レッスン後、授業実施とその内容確認を兼ねたレッスンレポートをご提出頂きます。

このレッスンレポートは、レッスン後速やかに(遅くともレッスン終了後24時間以内に)ご提出頂く事を原則としています。

※レッスンレポートの詳細につきましては、別途ご案内致します。

(3)教師紹介ページへの掲載

簡単な自己紹介とお写真をご提供頂きます。

※連絡先等の個人情報は掲載しません。現在の紹介ページは[こちら](#)をご参照下さい。

(4)予約システムへのスケジュール登録

予約の確認は、当社の予約システムで行って頂きます。

対応可能なスケジュールを登録頂き、変更が生じた際には修正頂く必要がございます。

※予約システムについてのご説明は、面接選考合格後にさせていただきます。

最後に（代表からのメッセージ）



日本語教育においても多様性という言葉をよく耳にするようになりました。しかし残念ながら、多様な学習者に柔軟に対応出来る日本語講師の数は限られます。これは、日本語教育における主流はやはり大学や教室形式の日本語学校である事と無関係ではないでしょう。教師養成講座においても、教室形式の授業を想定したものばかりで、マンツーマンレッスンのポイントと

しかし私は今後、マンツーマンレッスン(特にオンラインで受けられる)の需要は相対的に高まってくと予想しております。その主な根拠としては、現代人の多忙さ、学習目的の多様化、生活環境・価値観の変化などで、

従来の教室形式の授業では、学習者のニーズを満たしきれなくなっているからです。

また、IT やネットの普及により、近くに日本語学校も日本語講師も存在しないような場所に住んでいる学習者も、オンラインで日本語を学べるようになりました。事実、J-OS の学習者の約半数は海外からの受講者です。国内在住者でも、既存の日本語学校では満足できない方やプロのマンツーマンレッスンを希望している方が多い事を日々実感しています。

日本の経済力の低下、3.11 の震災など、日本語教育を取り巻く環境は、決して楽観的に捉えられるものではありませんが、このオンラインレッスンに関しては、今後ますます需要が高まっていく事でしょう。

日本が世界に誇る「和の文化」や日本人の思いやり、技術力などに関心を示す外国人は、まだまだたくさん居ます。彼らが日本語能力を身につけてくれる事は、今後の国際社会における日本のプレゼンスに少なからぬ影響力を持つ筈です。そして、その成否を担っているのは、外務省の役人なんかではなく日本語教師である皆さんです。

J-OS は、そのような外国人の方々の成長と成功に最大限貢献出来るよう、そして日本語教師の方々に活躍の機会と成長環境を提供出来るよう、日々の努力と改善を継続していく事をお約束致します。

有限会社ジャパンオンラインスクール 代表取締役 小池 慶

最後までお読み下さりありがとうございました。

J-OS へのエントリーをご希望の方は、エントリーフォームをご提出下さい。

エントリーフォーム <http://www.j-os.com/formmail/saiyou/entry.html>